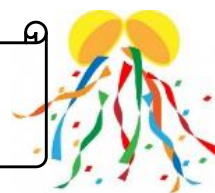




祝 おめでとうございます



3年GS科 ヘファナン色葉メープルさん

第3回ヨーロッパ女子情報オリンピック(EGOI 2023) 銀メダル獲得 文部科学大臣 特別賞の受賞決定



壮行会での決意表明通り、ヘファナンさんが見事銀メダルを獲得しました。また、このたびの成績を踏まえて、文部科学大臣特別賞も受賞決定しました。W受賞おめでとうございます！

2学期の始業式では、曾谷校長先生より全校生に表彰状、メダルのお披露目がありました。そしてヘファナンさんから、大会の感想を聞かせてもらいました。

世界各国の高校生と交流したことは、なによりの励みになったことと思います。



写真：日本情報オリンピックホームページより

EGOIに参加して

EGOI中の一週間は、コンテストは全力で楽しみ、交流は積極的に行うことができとても刺激的でした。時差ぼけや食習慣の違いには苦労しましたが、異なる国々からの参加者と交流したり一緒に踊ったりと、とても楽しかったです。

大会に向けては過去の問題や団長にお勧めされた問題を解きました。普段家で問題を解く時と違い、データ構造やアルゴリズムなどのテンプレートは、本番では一から書く必要があるので詰まらずに書けるか確認しました。

コンテストの結果は、金メダルにはあと9点足らずという少し苦い結果となりました。Day1、Day2ともにそれぞれの問題において最低限の点数はとることができましたが、転じてどの問題においても中途半端な結果となってしまいました。

EGOIへの参加はこれが最初で最後となります。情報オリンピックに出会い大会に参加することで様々な人と出会い刺激を受けてきました。その中でも EGOI はとても刺激的で、一生の思い出となりました。

ヘファナン色葉メープルさんより

～科学へのいざない～

○令和5年度 祥雲SSHシンポジウム 参加募集

『生物多様性ってなんだ～動物園から見る生物多様性～』

日時：令和5年9月23日(土)14:00～16:30(13:30～受付)

場所：兵庫県立三田祥雲館高等学校 大講義棟

内容○基調講演「動物園から見る生物多様性」 村田 浩一氏(よこはま動物園ズーラシア園長)

○研究・活動発表

○パネルディスカッション「生物多様性についてみんなで考えよう」

締切：9月15日(金)



申込みQRコード



GS科シアトル研修旅行



コロナ禍で中断していたシアトル研修旅行を4年ぶりに再会しました。7月には2年生全員、8月には3年生希望者参加で無事研修を終えることができました。

ワシントン大学での講義受講や学生との交流、現地企業の訪問、自然観察、ワシントン大学学生寮に寄宿等さまざまな体験をしました。

詳しい現地での活動は、ぜひ「北高ダイアリー」をご覧ください。



シアトル中心部



スザロ図書館(ワシントン大学)



ワシントン大学での講義



生徒の感想を紹介します(一部抜粋)



- 実際にアメリカで生活してみると、勿論ネガティブな面もあったが、思っていたより魅力的な国で、周りの目も気にせず、いろんな国、人種、性別の人が共存していて、誰にとっても住みやすい町だと感じた。さすがは移民の国だと思った。
- 英語はそのひとつの言語を話せるだけで世界中の人と話することができる凄い物だと強く感じました。そしてもっと英語を勉強したいと思うことができました。
- マイクロソフト社やボーイング社で働く日本人の方々の話を聞いて、その時から自分の考え方はかなり変わった。それほどに、その話はリアリティに満ち溢れていて、とても衝撃的だったのだ。「何事もチャレンジすることが大事」とはよく言うが、実際にそのチャレンジによってアメリカで働くことができる方々が言うのと重みが違う。
- アメリカには柔軟で自由なこと、またそれを活かし切って様々な努力、挑戦をしている人がたくさんいるのだと気づいた。また、特にそれを支えるワシントン大学の施設や仕組みがとても印象的だった。
- 大学での講義やマイクロソフトやボーイング社でのお話など様々な場所でいろんな人の考え方を知る機会がありました。特に自分がいいなと思ったのは「新人でもベテランでも関係なくお互いに意見を言い合う」というものです。
- アメリカの食で最も印象深かったのはカルフォルニアロールです。スーパーマーケットでカリフォルニアロールを購入したのですが、そこには何と、一丁前にガリとワサビが添えられていたのです。正直感動しました。
- アメリカの自由な価値観と豊かな感性は、科学や文学の研究、芸術、政治、ビジネスなどの世界にも間違いなく素晴らしい影響を与えていると思う。全体を通して学んだことは、自分が正しいと思ったことをすること。
- この40人でシアトルに来て、みんなのチャレンジ精神や自信、積極性など、私が見習うべきところが多くあると改めて感じた。特にそう感じたのは、食堂の相席のとき。最初の2回は、みんなで一緒に動いていて相席出来なかった。慣れない環境の中、一人で話しかけに行き、スラスラと英語で会話する誰かを見て、悔しかった。迷うのをやめて、現地の人と話せたのは3回目の食事。食堂での相席は、座ってしまえばもう目の前の人と話すしかないし、聞き取れていなかったとしても誤魔化せないから難しい。一歩踏み出せたい経験だった。
- 英語での会話の中で特に印象に残っているのは相席だ。私は自分から話しかけに行く勇気もなく会話できる自信もなかったため、最初は友達について行き、ただあいづちを打ちながらニコニコして話に加わっていただけという感じだった。しかしクラスメイトのエピソードや実際に友達が会話をしている様子を見て、最後の方は自分から質問して話を広げることもできるようになり、会話のある程度は楽しむことができるようになった。このことは自分の自信に繋がることができたと思う。
- シアトルの素晴らしさにも気づけましたが日本の素晴らしさにも気づくことが出来ました。ご飯は美味しいし、道路は綺麗だし真面目な国だなと思いました。普段当たり前になっていることがない生活で、いつもたくさんの人に支えられてるんだなということを実感することができて本当に充実した12日間になりました。
- 私たちが入学してからシアトル研修を準備してくださった先生方。特に、引率の先生方。8:30での集まりや10:30の就寝点呼での疲れ切った顔を見ると、生徒同様いつ倒れてもおかしくありませんでした。本当に感謝しかありません。そしてなんと言っても両親です。基本的に考えがちですがお金の支援ありがとうございました。私も自分の子供にいろんな経験をしてあげれるようにすることが、今の勉強をする目的になりました。
- アメリカで出会った人たちは、もちろん個人差はあれど、自分にある程度の「自信」を持っていた。ゆえにあまり他人に干渉せず、自分は自分、他人は他人と認めていて、それが彼らの自由でフランクな印象につながっているのだと思う。私は自分の変に細かい部分を気にして躊躇ばかりし、チャンスを逃す、彼らとはほぼ対極に位置する人間だった。しかしこの研修を経て少し自分の中で変化を感じることができた。いつか異国の地へ行ける機会があったら私は迷わず飛び込むだろう。